

大人の大変さを 学んで欲しい

昨年まで中谷中学校の教師をされていた、町教育委員会事務局の前田幸彦さんにお話を伺いました。

今の子ども達は昔に比べて、社会体験が乏しく、地域とのつながりが薄くなってきているように思います。そんな彼らが、地域の中で活動することは、大いに意義のあることです。子ども達は必ずしも自分の希望している事業所に行けない場合もありますが、職種は大きな問題ではないと考えています。事業所では様々な人との交流があり、そこで彼らは何かを感じ、学ぶはず。彼らに大人の大変さを学んで欲しいと思っています。そこから自分の周りの人への感謝の気持ちを改めて持つことができると思います。また、この体験が自分自身を見つめ直し、将来を考える一つのきっかけになってくれればと願っています。

今年で6年目になる「トライやる・ウィーク」は、兵庫県下全ての公立中学校の2年生が、学校を1週間離れて、地域の事業所などで職場体験やボランティア、文化活動を行うものです。

この活動は多感な年頃である中学生に、地域の中で社会体験を通して、「心の教育」を行うことを目的としています。兵庫県教育委員会は、6年前の神戸児童連続殺傷事件をきっかけに、中学生への心の教育の必要性を痛感し、全国に先駆けてこの活動を実施しました。現在では、他の自治体にも「心の教育」を行うための様々な取り組みが広が

最初は動きもぎこちなく、表情も硬かった子ども達ですが、最終日には仕事にも慣れた様子で、少しだけたくましくなったように感じました。昨年度の兵庫県下の中学2年生を対象に行ったアンケート調査では、約90%の子どもが「充実した一週間だった」と答えています。彼らにとって、貴重な体験をし、学校では学べないことを学んだ1週間であったことは間違いありません。事業所は地域の一員という

子どもは地域の中で育つ

いながわ特派員報告



鎌屋 郁子



松永 ひさみ

6月2日から13日にかけて、町内で「トライやる・ウィーク」が実施されました。今年は、380人の中学2年生が延べ102カ所の事業所で様々な体験をしました。この期間、町内のおちろちろで、慣れないながらも一生懸命がんばっている中学生を見かけた人も多いことでしょう。今回は、奮闘する中学生と彼らを支える地域の人々を追ってみました。

がんばれば



中学2年生

～六瀬中学校～

道の駅いながわ

《生徒の声》商品の計量・陳列や、そばの館で接客・皿洗いなどをしました。たくさんのお客様にすばやく対応すること、自分で仕事を見つけて動くことは難しいとわかりました。

《指導ボランティアの話》大人の中に入って礼儀を覚えることも大事なことだと思います。いい経験にして欲しいです。



猪名川中学校の生徒が、活動中付けていたバッチ(同校美術部2年生、村上沙織さん、太田愛さんの作品)

立場で、この活動に協力しています。毎年協力していただいているところが多く、この活動が地域に根付いてきていることが分かります。各事業所では、指導ボランティアが子ども達の指導にあたります。彼らに事故がないよう細心の注意を払いながらの指導は大変なことだったと思います。ある事業所の人が「活動後、街で子ども達に出会ったら、

手を振ってくれるんです。うれしいものですよ」と話されました。ちょっとしたことですが、「心の教育」の原点はこんなところにあるのではないのでしょうか。

家庭、学校、地域の人々が子ども達を温かく見守り、関わっていくことで、彼らは地域の中で大きく育っていくのだと思います。

～猪名川中学校～

J A兵庫六甲猪名川



《生徒の声》農機具の洗浄や梱包など機械を使う作業は、指導ボランティアの人に教えてもらいながら、注意してしました。苗の運搬など、体を使っての作業は、きつかったけどがんばりました。田植えも初めての体験でした。

～六瀬中学校～

クリーンセンター

《生徒の声》ごみの問題を実感としてとらえることができた5日間でした。ごみ収集車といっしょに町内を回りました。生ごみは、袋が破れ中身が出ているものもありました。ごみを出すときは水切りをしっかりとって欲しいです。この仕事はみんなのための大事な仕事だと思います。収集車の清掃は楽しかったです。

《指導ボランティアの話》作業中の事故を防ぐには、仕事に緊張感を持つことが大事だということを、子ども達に教えました。また、顔を見せて欲しいですね。



～中谷中学校～

三喜石油



《生徒の声》おもしろかったのは給油サービスで、大変だったのは商品の花の手入れです。接客では、相手の立場で考えるということをお勉強しました。大きな声でお客様に「いらっしゃいませ」を言うように心掛けました。お客様から応援の声をかけていただうれしかったです。

《指導ボランティアの話》「トライやる・ウィーク」は地域社会で子どもを育てようという良い試みだと思います。サービスする側に立場が逆転することによって、子ども達に人を思いやることの大切さを学んで欲しいと思っています。従業員たちも指導を楽しんでいます。子ども達は良い出会いをすることで、大きく成長します。大人は本気で子どもと向かい合うことが大事だと思います。

～中谷中学校～

猪名川乗馬クラブ



《生徒の声》動物が好きなのでここを希望しました。馬に接するのは初めてでしたが、すぐに慣れて触れるようになりました。厩舎の掃除やえさやりも、馬に話しかけながらしました。将来、こんな仕事もいいなと思います。

子ども達に、「学校とトライやる・ウィーク、どっちが楽しい？」と聞くと、「トライやる・ウィーク！」という返事が返ってきました。子ども達にとっては、新鮮で興味深い1週間だったようです。その理由の一つに勉強がないということもあったのかもしれないと、少し驚きました。これから子ども達がいるような体験をして、まっすぐにたくましく育って欲しいと願っています。関係者のみなさん、お疲れさまでした。

【いながわ特派員】

編集後記

～猪名川中学校～ 猪名川郵便局



《生徒の声》午前中は郵便物の仕分けと配達をしました。大きな郵便バッグをさげて配達するのはおもしろかったけど、間違えないように配達することにはとても気を使いました。午後からはポスター作りをしました。ポスターは、製作者名入りで猪名川郵便局に掲示されるので楽しみです。